

related及びrelateと連語を形成する 前置詞について*

森 創 摩

1. はじめに

「関係・関連」を表す表現は、be concerned with~, be involved with~, have something/nothing/much/a lot to do with ~などに見られるように、前置詞 withと非常に結びつきやすい。しかしながら、形容詞related（この用法の relatedは一般には過去分詞形容詞と呼ばれることがあり、現代英語では形容詞とみなされ、ほぼ全ての英和辞典・英英辞典において形容詞と表記されている；以下では、誤解が生じる場合を除いてrelatedを過去分詞ではなく形容詞と呼ぶこととする）と結びつく前置詞は事情が異なるようだ。結論を先取りして言うと、形容詞relatedと結びつく前置詞は、少なくとも現在の使用上の規範としては、withではなくtoである言える（例えば、以下の(1)の例のように）。

* 本稿の執筆に際して、元日本英語英文学会会長の渋谷和郎先生と日本英語英文学会事務局の渋谷優介先生から貴重な助言をいただいた。本稿の執筆は、大西秀一氏と椎名美智氏（法政大学教授）との談話が大きなきっかけとなり、石川和佳氏、酒井啓史氏、戸鹿野友梨氏、中村直樹氏、そして横尾夏澄氏らとの楽しい英語学談義が本稿の執筆を促進させた。ここに記して彼らに感謝したい。また、菅原多嘉子氏（千葉工業大学・文京学院大学非常勤講師）に感謝申し上げます。本稿のネイティブチェックは彼女の協力に負うところが非常に大きい。さらに、本研究を長年応援し続けてくれた田中徹也氏、渡邊泰央氏、中川礼子氏、八巻辰二氏の四人に御礼申し上げます。以上の方々がいなかったら、本稿は完成しなかったかもしれない。そしてさらに、本学会の匿名査読委員のお二人に感謝の意を表す。忙しい中、査読を引き受け、貴重な査読コメントをくださり、深く感謝する次第である。なお、本稿における不備や誤りはすべて筆者の責任による。